


児童相談所関連研修「児童家庭福祉」

【日時】	令和3年3月9日（火）、10日（水）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	45名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 林 浩康 氏 ・大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 准教授 蔭山 正子 氏 ・白梅学園大学 子ども学部 子ども学科 教授 長谷川 俊雄 氏 ・和光大学 現代人間学部 心理教育学科 教授 菅野 恵 氏 ・明星大学 人文学部 福祉実践学科 常勤教授 川松 亮 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童虐待を取り巻く情勢を理解し、子ども家庭福祉行政に携わる職員としての自覚や自信を持ちながら、児童虐待に的確に対応することができる実践的能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会的養護の現状と課題（講義） ② 精神疾患を持つ親への育児支援（講義） ③ 支援者と「ゆらぎ」～支援の困難さと感情労働の視点から「わたし」を振り返る・ケアする～（講義・演習） ④ 子どもへのアプローチに活かす面接技法（講義・演習） ⑤ 家族支援のあり方を考える（講義・演習） <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p><演習の様子></p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・大変有意義な時間でした。研修環境も整っており、集中することが出来ました。 ・経験の浅いうちは特にわからないことが多い中、日々の業務に追われてしまうので、このような機会が多くあると大変助かります。 ・それぞれの先生方の経験や支援の仕方を聞くことが出来て、とても面白く受講することが出来ました。 ・知識のインプットとアウトプットがバランスよくできて良かったです。 ・アセスメントの重要性を学びました。他区の体制の違い等について意見交換の場になって良かったです。 ・内容が分かりやすく、すぐに業務に活かせるような学びがありました。